

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和 5年 9月 8日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3470104898		
法人名	株式会社 ひょうま		
事業所名	グループホーム ひなたぼっこ・高陽		
所在地	〒739-1732 広島県広島市安佐北区落合南七丁目10番20号 (電話) ① (082) 841-5670 ② (082) 845-2050		
自己評価作成日	令和5年7月30日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&JigyosyoCd=3470104898-00&ServiceCd=320&Type=search
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	令和5年9月5日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

利用者、家族、職員にとって過ごしやすい、安心できる、働きやすい環境のもとでサービスを提供し、コロナも緩和されてきているので以前のような、外出支援やご家族との共有時間を増やしていき、生活が充実するサービスを心掛けている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

訪問看護との連携や医師との連絡体制による医療サポートの充実を図っている。最近の取り組みとして、家族の協力のもと、外食やお墓参り、病院受診など新型コロナウイルス感染症の状況に合った外出の工夫をしている。3食の食事に力を入れており、行事食、焼肉パーティーなど、本人の誕生日にはリクエストを聞いてメニューに反映し、希望があれば晩酌もできる。利用者と一緒に育てた野菜(キュウリ、トマト、茄子など)を収穫し食材を楽しめる工夫をしている。面会は、新型コロナウイルス感染症の状況に応じて、対面に切り替え、玄関先、テラス、LINE(SNS)など活用し、家族や友人との関りを継続できる支援に取り組んでいる。利用者個々の力に着目し、洗濯物を畳む、食事作りなど役割があり、利用者の生活が充実できるように職員は利用者寄り添い日々支援をしている。

自己評価	外部評価	項目(高陽①)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	介護事業部スローガン「果敢に挑戦ぬくもありある未来へ」を基に職員はひょうまの流儀を毎月確認しながら日々の業務にあたっている。	本社の理念を活かし、職員間で話し合いを行い、理念に沿った目標を各ユニット間で目標を掲げて取り組んでいる。代表者の想い『ひょうまの流儀』を毎月の職員会議で確認しながら日々実践することにより全員で共有している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	コロナ禍でつながり事態は減少しているが5類への変更後、運営推進会議をホーム開催するなど少しずつ利用者、事業所も地域へ出ていきたい。	町内会の加入により、地域情報を得ている。町内行事、秋祭りの際には、こども神輿がホームまで来て、地域と利用者との交流を図っている。職員も町内清掃などを手伝い、地域との関わりを密にしている。気候が良ければ散歩や回覧板を通して顔なじみの関係性を築く努力をしている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	地域の方へこちらからの発信は乏しい状況ではあるが、相談や問い合わせなどあれば見学や電話対応など真摯に対応を続けている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	8月よりホーム開催へ変更、今後も対面での開催を行いホーム運営に活かしていきたい。	コロナ禍の状況を踏まえ書面で継続していたが、令和5年7月以降は対面会議をしている。利用者の状況、ホームでの取組み状況、事故報告、今後の予定など報告している。例えば、服薬確認を2重チェックから声掛けを含めた3重チェックにする事でヒヤリハットが軽減されたケースを報告している。	現在は議事録が公表されておらず、家族への情報が共有されていない。今後は議事録を送付する案等、会議録公表に取り組み、家族の意見が運営に一定反映されるようにフィードバック出来る体制づくりを期待したい。
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	必要な状況があれば随時、連絡、相談は行える状況にある。また生活保護受け入れ施設である為、生活課ケースワーカーとの利用者の相談に関しては密に行えている。	市との連携は、各ユニットのホーム長が主に遣り取りをしている。事故報告書の提出、認定調査、困難事例、苦情対応など相談や質問がある時は、市へ相談している。生活保護担当者など必要時は電話連絡などで相談し、より良い協力が得られるように努めている。	

自己評価	外部評価	項目(高陽①)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束委員会の開催、身体拘束、虐待研修も年1回、全スタッフ対象に開催し、身体拘束などについても定期的に委員会で現状の振り返り検討もしている。</p>	<p>安全対策として、玄関はオートロック扉としている。3カ月毎の身体拘束廃止委員会を開催し、現状と不適切なケアがないかについて振り返りを行っている。年1回の研修を通して、確認し合い職員は利用者に寄り添って日々支援することで身体拘束をしないケアを目指して取り組んでいる。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>年1回の研修の実施、委員会での検討結果報告、オンラインでの内部研修も行いながらスタッフの意識付けも行っている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>後見人制度等の研修は行っていないが、利用者に必要な状況が発生すれば、活用の案内など行っていく予定。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>改定の際の説明と同意、契約の解除(退去時)などの際も次の施設との連携や家族への連絡調整も積極的に行き不安の少ない対応を心掛けている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>契約時に意見、要望、苦情などの窓口の設定状況など説明を行っている。また、面会時や、ケアプランの更新の際にも要望等について何うようにし、本社よりアンケートも実施している。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の状況に応じて、オンライン面会、対面面会など柔軟に対応をし、家族からの差し入れは自由にしている。意見・要望など直接言いにくいことは、本社より家族へ、年1回『アンケート』を実施している。寄せられた要望や意見は誠意を持って対応し、信頼関係を築くようにしている。</p>	

自己評価	外部評価	項目(高陽①)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>スタッフ会議、その他の場面での意見等あれば管理者会議や直属の上司への相談など要望として伝えている、現場での意見などは管理者の裁量の中で実現可能な物は実行に動いている。</p>	<p>年2回の個別面談を実施し、管理者は、職員一人ひとりの力量を把握している。毎月の法人管理者会議で事業所の現状を報告している。法人として『資格取得の斡旋、希望休の取得、残業をさせない、個々の職員の状況に応じた勤務時間、勤務変更』など柔軟に対応し、働きやすい職場環境の充実に努めている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>今年度よりスタッフ評価制度も開始し、面談なども行いながら適正な評価が職員に反映される仕組みができてくると思われる。</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>社内研修(接遇、パワハラ、虐待、新人)など研修自体は年々充実している状況、また教育訓練休暇制度なども活用してもらいスキルアップの機会も提供している。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>入居相談等を通じ近隣の事業所などとのネットワーク、相談等も行っており、事業所間でのつながりも増えている。</p>		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>ご入居前に本人、難しい場合は家族に入居時の対応など説明し同意を得たうえで施設内でのサービスを提供している。</p>		

自己評価	外部評価	項目(高陽①)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>ご入居前に家族に入居時の対応、リスクなど説明し同意を頂きご家族のご要望もお伺いしたうえで施設内でのサービスを提供している。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>入居前の事前調査により、どのような経過で、何を望んでホームへ入居になったか、また入居後はどのような対応を望まれているかを把握しサービス利用開始している。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>生活の場という意識を持ち、職員が全ての事を行うのではなく、部分的にも関与してもらえよう声かけ、協力を依頼しながら過ごしている。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>コロナの感染状況を踏まえつつ、出来る限り家族さんとのかかわりが持てるようホームからアプローチしている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>少しずつではあるが遠方の兄弟と会う機会や卒寿のお祝いの自宅への外出、墓参りなど実施している状況。</p>	<p>以前の関係継続が出来るように利用開始時に説明をしている。新型コロナウイルス感染症の状況に応じて、オンライン面会、対面面会など柔軟に対応をしている。外食やお墓参り、病院受診など工夫をして行っている。家族の協力を得て、友人や知人などの訪問もあり、以前からの関係継続に配慮している。</p>	

自己評価	外部評価	項目(高陽①)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	利用者それぞれの性格を把握した上で、それぞれの関係を観察しながら場合によっては調整し、出来るだけ個々に適した環境設定を心がけている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	退居の際には何か相談があればいつでも対応しますとお伝えし関係性を維持するようにしている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	訴えのできる方には可能なかぎり、本人本意で、そうでない方には家族へ聞いたり、本人に必要な援助を検討し行っている。	日頃からコミュニケーションを図り利用者の意向はケース記録で職員間で共有し、利用者の想いを把握している。意思表示が難しい方は、家族からの情報を得て、何事も利用者本位で物事を考えている。日々の関わりのなかで、楽しみごとやその人らしく暮らせることに心掛けた支援をしている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	事前調査の情報、家族との話しの中、また本人との会話や生活の様子から知り得た情報を会議、日常業務で共有している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	毎日のケアの中での観察、申し送り、会議にて共有し、場合により必要であれば対応を柔軟に変えている。		

自己評価	外部評価	項目(高陽①)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>日頃のご本人さんのご様子やご家族からの情報、主治医などの意見も踏まえて計画作成を行っている。</p>	<p>利用者ごとに担当職員がおり計画作成者と共同で作成をしている。家族に説明し、同意を得た介護計画書を職員間で回覧し共有しながら支援をしている。利用者から『買い物をしたい』意向があれば、本人の状況をみながら一緒に買い物へ行くなど実現可能なことは実行している。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>様子、変化については個別記録、申し送りへ記載し対応を変更する場合も申し送り等を活用している。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれ出るニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>家族、本人からの要望などに応じ、ホームとして柔軟性をもって家族や本人の事情に合わせた対応をするよう心がけている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>地域の民生委員、家族、同一グループなどの力も借りながら運営を行っている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>ほとんどの方がホーム協力医のご利用をされている状況の中で主治医の協力体制も充実している。状態の変化などあれば主治医の見解もご家族につ伝え必要な医療に結び付けている。</p>	<p>利用開始時に希望を聴いているが、月2回の訪問診療や24時間の連絡体制が整っていることもあり、利用者大半の主治医が事業所の協力医である。他の専門医の受診などは家族と相談し、事業所対応又は家族の協力のもと支援を行っている。必要に応じて、月2回の歯科の訪問診療を受ける事が出来る。</p>	

自己評価	外部評価	項目(高陽①)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	訪問看護の訪問時や電話、往診などで利用者の情報を共有し、褥瘡のケアや、体調不良、医療受診の必要性等の意見など聞きながら対応している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時にはサマリーにより情報提供を行っている。また入院時にホームの窓口もお伝えし早期の退院、退去などあれば一緒に検討をしている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	基本的には常時、医療行為があった場合には継続的にホーム利用は難しく、終末期までの対応はできないと入居前、入居時に伝え理解いただいている。終末期を迎えても可能な限りホームで生活をおくりたいと要望があればできる範囲で対応している。また他の関係機関への照会、転居調整もしている。	利用開始時に家族への説明は行っている。継続的な医療行為が難しいため、重度化した場合、その都度家族や医療関係者と方向性をよく話し合っている。看取りの時期になれば他法人の特別養護老人ホームや療養病棟がある病院での対応としている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	救急講習は全スタッフが受講し、適切な連携をどうとるかなど、対応に備えている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	年2回避難訓練、1回の災害訓練を実施している。うち1回は、近隣住民の方と夜間を想定した合同避難訓練を実施し、災害時には応援をいただくことをお願いしている。また、スタッフにも災害時の避難場所、連絡網、持ち出し物等、訓練を通じ説明している。	緊急連絡網を作成し、法人間で備蓄品や分散避難など協力体制が整っている。コロナ禍前は運営推進会議メンバーと一緒に訓練をしていた。年1回は近隣住民の方と夜間想定訓練を実施している。停電時の対応として、蓄電可能なソーラーパネルを設置している。	

自己評価	外部評価	項目(高陽①)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	ご利用者の性格や人格に添った声掛けや対応を心掛けている。	利用者本人が納得する事が大事だと考え、理解しやすい声掛け、ケアに取り組んでいる。日頃の対応で気になる点があれば、申し送りや職員間では口頭でも伝えている。職員は居室に入る時はノックをするなど当たり前の行動ができるようにしている。記録物に関しても第三者が目に触れないように配慮している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	ご本人の訴えや希望を、可能な範囲で対応できるよう相談や意見、思いの拾い上げを心掛けご家族にも相談し実施に取り組んでいる。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	ホームの体制や状態も加味しつつ、利用者の希望や過ごしたかなども柔軟に対応できるようにしている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	カットや髪染め、パーマ、また化粧品の購入など、ご本人や家族と相談しながらご本人の意向を出来るだけ反映するようにしている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	利用者さんにも参加できることにはかかわって頂いている。また嗜好にも配慮ができるようご要望があれば対応している。	下準備、片づけなど利用者と職員が協力し3食手作りで提供している。本人の生活習慣を把握し食事量を変えている。ホーム菜園で育てた、キュウリ、トマト、茄子等が食材に並ぶこともある。誕生日は、本人の希望を聴いてメニューに反映し、時にはラーメンなど出前や焼肉パーティーなどで食事を楽しんでいる。	

自己評価	外部評価	項目(高陽①)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>主食、副食の形態、ダイエットの必要な方は量などを調整するなどして提供している。また状態、個々の習慣、嗜好も配慮し提供している。利用者の状態に応じた特定の食材を多めに食べてもらうなどへも取り組んでいる。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>口腔ケアは義歯の方も含めて基本的には毎食後に実施し、歯科往診も必要な方には受けて頂いている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>トイレ誘導を基本として対応し、水分量や排泄状況に応じ、内服の変更、誘導のタイミングも配慮している。また排泄用品などの見直しも会議の際に検討している。</p>	<p>トイレは、1ユニット定員9名に3カ所あり、その内1カ所は車いす利用も可能である。夜間必要時は居室内にポータブルトイレを設置している。毎月のスタッフ会議で利用者個々の状態把握、見直しなど個別のケース検討をしている。定期的なトイレ誘導を行い、なるべく紙おむつの使用はさけるようにしている。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>食事や水分、運動など利用者の訴えやお体の状況を踏まえ個人的に飲食や内服など調整している。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>入浴のタイミングや時間など配慮はしている。順番など希望を聞いてできる範囲で配慮している。またスタッフ側の都合で入浴が中止にならないよう365日実施を心掛けている。</p>	<p>週2～3回の入浴をし、適宜、皮膚トラブルがあれば足浴を実施している。本人が好む、シャンプー、石鹸など自由に持ち込みができる。同性介護やシャワー浴又は湯船に浸かるように本人が希望する支援をしている。衣類が汚れた場合は、その都度入浴をし、入浴剤や柚子湯など季節湯を支援している。</p>	

自己評価	外部評価	項目(高陽①)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、 安心して気持ちよく眠れるよう 支援している。	体力面も考慮し日中の静養時間 も必要な方にはとって頂いて いる、夜間も睡眠状態を見な がら内服のタイミング、誘導 方法もスタッフ間で共有しなが ら対応している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の 目的や副作用、用法や用量に ついて理解しており、服薬の 支援と症状の変化の確認に 努めている。	服薬状況がわかるようファイル に閉じ、スタッフがいつでも 確認できるようにしている。 内服の増減もスタッフ周知し、 往診時のDrに様子を伝えなが ら調整をしている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を 過ごせるように、一人ひとりの 生活歴や力を活かした役割、 嗜好品、楽しみごと、気分 転換等の支援をしている。	個々の状態にあった対応を心 がけ、本人の嗜好や要望にも、 柔軟に対応できるようご家族、 協力機関とも協力しながら 対応している。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望に そって、戸外に出かけられる よう支援に努めている。また、 普段は行けないような場所 でも、本人の希望を把握し、 家族や地域の人々と協力し ながら出かけられるように 支援している。	コロナの感染状況も配慮し ながらもご本人、ご家族の 要望には可能な範囲対応し ている。外出なども今後、 実施していきたい。	気候が良ければ、職員と一 緒に散歩を兼ねてゴミ出し や郵便物の投函、買い物な ど外出をしている。令和5 年5月以降は感染対策を取 って家族対応での外食、お 墓参り、病院受診などして いる。季節毎の外出計画『 初詣、お花見、紅葉狩り』 などに出掛けている。外出 を行い外気に触れる機会 作りを増やしている。	
50		○お金の所持や使うことの 支援 職員は、本人がお金を持つ ことの大切さを理解しており、 一人ひとりの希望や力に 応じて、お金を所持したり 使えるように支援している。	紛失のリスクを家族に説明 し、基本的には所持されて いないが、金銭に対する 思いが強い方や家族の 希望があれば可能として いる。		

自己評価	外部評価	項目(高陽①)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	家族への連絡を希望される方は電話、連絡(電話)が入った際には希望があれば、本人と変わってお話してもらっている。また、出来る方は手紙のやり取り携帯等も持っておられ活用している。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	壁画や季節の飾りなど季節ごとに変化させている。またその他の環境面等もシンプルで落ち着いた色調にしている。	玄関ホールにお地藏さんや季節が感じられる装飾品を置いている。利用者と職員が共同で作成した季節の飾りつけをしている。廊下などに温度計を設置し、室温調整や換気を行うようにしている。リビングから出入りできるウッドデッキがあり、利用者個々の能力に応じて、洗濯物を畳んだり、干したりしている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	自分の席やソファなど各自一人で過ごせる場所は確保できている。人間関係を配慮しなるべくストレスが少なく、導線の良い環境を心がけている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	基本的には持ち込みの制限はなく、馴染みのものを置くなど自由に使用していただいている。	車いす使用の方でも十分のスペースが確保されている。ベッド、エアコン、カーテン以外は、自由に持ち込み可能である。本社手作りのベッド、テーブルなどを配置している。利用開始前に相談し、使い慣れた品物、仏壇や家族の写真など生活習慣にも配慮し、安心して過ごして頂けるよう工夫している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	福祉用具など必要に応じ、調達しケガなく安全で生活しやすい環境を整えている。今後も必要に応じていく。		

V アウトカム項目(高陽①) ← 左記()内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き生きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

自己評価	外部評価	項目(高陽②)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	全事業所共通理念、ユニット間での理念を掲げ、利用者それぞれの意向を尊重し、定期的に職員間で確認し個別ケアに繋げている。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している。	コロナウイルスの影響の為地域との交流や繋がり、行事への参加は中止となっていたが、少し緩和されてきているので近所を散歩して交流を図ったり回覧板等により地域行事のお知らせを頂き、今年もホームの玄関先にでも観覧できる行事がある事を楽しみにしている。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	事業所発信ではなかなか出来ていない状況だが、認知症サポーターメイド、認知症ケア専門士保有職員がおり、依頼があれば対応も検討可能。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	コロナウイルの影響の為運営推進会議は書面のみの報告となっていたが、7月より対面で行う。実際お会いして意見交換が出来る事が嬉しい。		
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	事故報告、困難事例、苦情対応などあった際には相談などしている。情報共有、協力体制等、今後も維持して行く予定。		

自己評価	外部評価	項目(高陽②)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	コロナウイルスの影響にて制限があったが、リモートでの研修、職員会議時の内部研修や、身体拘束委員会実施にて、ホーム全体で検討、周知、共有している。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることのないよう注意を払い、防止に努めている。	記録や事故報告書等での確認、日々のケアでの気付き、内部研修など、職員間で共有しながら業務へ当たっている。人員も足りており、職員間で話時間が確保出来ている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	自立支援を受けておられる方がいるので、内部研修を通じて学ぶ機会へ繋げて行きたい。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約時には、家族へ十分な説明を行い、希望、質問などにもお答えしている。また、改定事項があればその都度電話等での説明、文書での承諾を得ている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	契約時に意見、要望、苦情などの窓口の説明を行っており、面会時やケアプランの更新の際にも要望等について何うようにしたり、本社よりアンケートも実施している。アンケートについては本社でまとめた文章をカンファレンスの場で、職員全体で共有、周知している。		

自己評価	外部評価	項目(高陽②)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	会議や日常業務中の中で、スタッフの要望や意見等を聞き入れ、対応可能な範囲で改善し検討している。人員が足りている状態なので、この機に話し合いの時間が十分に取って、個人で話しやすいよう、必要に応じて面談を徹底していく。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	研修制度や労働条件など少しずつ進歩している。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	現在コロナウイルスの影響の為、内部、外部研修は、制限されているが、必須の研修会に関しては、受講者が持ち帰ったスキル、知識を生かせるよう、情報共有する時間を設けて、スタッフの能力向上の意欲を高めている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	今年から認知症介護実践者研修が対面研修になり、意見交換がしやすくなった。グループ内での内部研修等の機会や交流は、まだ制限されている状況ではあるが、通信ツールを利用してサービスの質の向上に取り組んでいる。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	コロナウイルスが続く中、入居されサービス利用を開始された方は、今までにない制限下の中でのサービス利用となられ、不安や不満の訴えが多くあった。可能な限りニーズに沿った、メンタル面・フィジカル面のケアを行えるよう現在も取り組んでいる。		

自己評価	外部評価	項目(高陽②)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	現在コロナ渦中にて、入居の面談の際、またはサービス計画更新の際に、当ホームへ来所が困難な遠方の家族へも、電話やSNSを活用しながら状況の説明を行い不安を軽減出来るように対応し、今後の要望も聞きサービスの実行に移している。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	現在コロナ渦中にて、他のサービス利用より、先ずはホーム内での集団生活となる環境に慣れていただくことから始め、生活の様子を観察しながら、ご家族様にお伝えし、個別対応に配慮している。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	「顔見知り」の関係を築く事により信頼関係と、安心感を持って頂き、身体及び認知機能の維持に努めている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	コロナウイルスが少し緩和してきており、ご家族とはドア越しの面会、テラスでの面会が可能となり、以前より直接顔をみながら交流が持っている状況にある。次のステップでは一緒に外出、外食が出来る事を待ち望んでおられる。可能な限り近況をお知らせしている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	コロナウイルスが少し緩和してきており、馴染みの方の面会等など、制限解除している。遠方の方は通信ツールを利用する事で、維持できるように対応している。実際、ご友人がホームへ電話して下さり、その方の声を聞かれたら思い出され、楽しく会話されている。		

自己評価	外部評価	項目(高陽②)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	利用者同士の「馴染みの関係」や本人が安心出来る「生活の場」である事に配慮しながらケアを行っている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	次の施設が見つかるまで紹介を行ったり、退居後も相談を受けたりと対応している。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	BPSD発生時や困難な場合等、職員間での連携、場合によっては家族とも相談し対応している。一人一人の生活時間に可能な限り合わせられるよう、心がけている。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	事前に知り得た情報は、職員がいつでも確認出来る場所に保管し、本人の把握に努めている。又、家族や知人の面会時からの情報も大切にしている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	ご本人の状況に合わせ随時、環境、生活の過ごし方も検討、変更している。又必要に応じてご家族や、協力医療機関とも相談、情報共有しながら、ケアに反映させている。		

自己評価	外部評価	項目(高陽②)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>プラン作成、変更時は可能な範囲、ご家族ともお話をし改めて希望、意向をお伺いしプランを作成、同意を得るようにしている。</p>		
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>日々の変化、対応など申し送りを活用し対応している、また計画作成にも現在の状態、対応も含め検討している。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれ出るニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>現在コロナウイルスの影響の為、地域サークルへの参加、傾聴ボランティア等も中止している。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>コロナウイルスが少し緩和されてきている為、地域資源との連携を取りつつ、本人の現在の状況、家庭環境等も考慮しながら対応している。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>入居の際、協力医療機関への主治医の変更をお願いしているが、家族の希望があればそのままの主治医で対応している。また、緊急時の受け入れ希望など主治医に伝え可能な範囲反映している。</p>		

自己評価	外部評価	項目(高陽②)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	訪問看護ステーションと契約し必要に応じて協力、相談、情報交換出来ている。又、職員含め、安心出来る体制作りが行っている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	かかりつけ医との連携にて、スムーズな入退院を行えるように配慮している。必要に応じてカンファレンス等にも参加し情報共有をはかっている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	入居契約時の説明以外でも、必要に応じて家族とも通信ツールを利用して相談、連絡等行っている。訪問診療時での変化があれば、ご家族に伝えている。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	コロナウイルスの影響の為、スタッフが研修、勉強会で学べるような体制がまだ少し制限されているが、受講したスタッフが会議やミーティング等で知識、技術が共有出来る機会をつくっている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	近隣住民協力のもとでの合同避難訓練を含めて、年2回実施しているが、コロナウイルスの影響により制限がある中での避難訓練となっている。		

自己評価	外部評価	項目(高陽②)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	利用者各々の性格や状態も含め、尊敬の意思を持って不快のない理解のしやすい声掛けやケアを心がけている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	本人の訴えや希望を可能な範囲で対応できるよう心がけ実行している。出来ない時はご家族様にも協力をお願いしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	自分の思いを訴えることができる方については、希望を出された際にはできるだけ対応している。また、身体的な介助が多い方でも、なるべく負担なく、普通の生活を行えるよう配慮している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	化粧や衣類に関しても、以前からの習慣を継続出来る様配慮し本人の意向も反映するようにしている。そうされる行動を職員が賛美することにより、日々の生活に張りを与えていると感じている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	ホーム内にて職員手作りの食事が中心となっており、盛り付けや、野菜の下処理、準備、片付けは、利用者様と職員と一緒にしている。月に数回イベントの日もあり、希望を取り入れたメニューも心がけている。		

自己評価	外部評価	項目(高陽②)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス, 水分量が一日を通じて確保できるよう, 一人ひとりの状態や力, 習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>主食、副食の形態、量など個々の状況をみながら提供している。また、個人の習慣、嗜好も配慮し、個別食なども対応している。水分補給は全体的なバランス補給を行っている。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように, 毎食後, 一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>口腔ケアは1日3回実施し、口腔内の磨き残しの確認等をスタッフが行っている。訪問歯科受診時に口腔ケア指示書も頂けるようになり必要な方は隔週受けて頂いている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし, 一人ひとりの力や排泄のパターン, 習慣を活かして, トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>随時、また定時の排泄誘導を前後の排泄状態を考慮しながら行っている。またパットなども季節や本人の状況によって形状を変更している。また、なるべく排泄用品も使わないよう検討、変更している。</p>		
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し, 飲食物の工夫や運動への働きかけ等, 個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>コロナウイルスの影響の為、外出自粛にて行動にも制限があり便秘傾向が助長されているので、乳製品・室内での体操・歩行練習・食材の選択に配慮しながら、又必要に応じては主治医と相談しながら、排便調整に努めている。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように, 職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに, 個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>なるべく入浴をスムーズに受け入れていただけるよう声掛けや入浴時間、誘導にも工夫している。利用者からの希望あれば予定日以外での入浴や、通常午後から入浴を行っているが、必要に応じて午前でも可能な範囲実施している。</p>		

自己評価	外部評価	項目(高陽②)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	特に夜間は柔軟性を持って関わり、安心していただけるよう臨機応変に対処している。また、内服も可能な範囲使わず一定期間は様子を見るようにしている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	服薬状況がわかるようファイルに閉じスタッフがいつでも確認できるようにしている。また、服薬の変更、その後の状態の変化の観察を申し送りにて伝え、ドクターとも連携して対応している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	生活歴や日常の会話、家族との会話の中から得た情報を活かし、個別に外出場所も変更している。職歴の会話の中から、ご本人の役割を見出し、支援し実行している。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	コロナウイルスが少し緩和されてきているの為、外出が少しずつ可能となっているが(人が少ない時間等の配慮しながら)まだ制限がある為、ご家族の要望、本人に要望を、感染予防を行い可能な範囲での、車でのドライブや散歩等にてストレス解消を図っていく。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	基本的には所持されていないが、金銭に対しての思いが強い方などは少額を持って頂き、精神的に安定していただけるよう配慮している。		

自己評価	外部評価	項目(高陽②)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>家族への電話や、毎月の通信に記入可能な利用者からの直筆コメントも入れている。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>コロナウイルスが少し緩和されてきている為、近場の公園へ散歩に行かれたり、ホーム内の壁画や季節の飾りなど月ごとに換え、環境を変化させて、利用者との会話の広がりを持たせている。またその他の環境面等もシンプルにわかりやすくしている。</p>		
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>共有スペース以外にもテラスではプランターに花や野菜と一緒に植えたり、収穫したりし、その成長を外気浴を兼ね、のんびり眺めていただいたり、「くつろぎの間」と称した椅子とテーブルのある場所なども用意し、ゆったりと過ごしていただけるよう配慮している。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>家族へもなるべくご本人にとって馴染みのある物を持ってきていただくようお願いし、それらを含め動線に沿った配置も行っている。</p>		
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>本人の状態を考慮し、自分で生活動作を思うように行えるよう、物の位置には特に安全であるように環境整備に配慮している。</p>		

V アウトカム項目(高陽②) ← 左記()内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホームひなたぼっこ・高陽

作成日 令和5年10月5日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	9	その人らしい暮らし方が出来ていない。	お風呂は入りたい時に入る、ご飯は食べたい時に食べる等利用者が思うように生活して頂く。	入浴時間、日時もいつでもいい様に、業務を調節している。	1年
2	8	コロナの影響もあり、家族以外の方との関わりが出来ていなかった。	親族（遠方）、近所の方との面会も状況を判断しながら行って頂く。	家族にも協力して頂き、声掛けを行う。	1年
3	7	代表者や管理者は職員の意見を聞き、反映できる事は反映していく。	職員が働きやすい職場作りを行う。	面談を設けて、話合いが出来る環境作りを行う。	1年
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。